

# 稲刈りスタート

三重

## 県内トッポを切り収穫

### 紀宝町大里地区

【三重・伊勢】紀宝町大里地区で27日、中西和益さん(77)が県内トッポを切って早場米「あきたこまち」の稲刈りを始めた。同町では、温暖な気候を生かして、中西さんら生産者2戸が約90㍓で早場米を栽培している。中西さんはこの日、



早場米の稲刈りを行う中西さん

ら、熊野市有馬町にあるJ A伊勢のファーマーズマーケット「ほほえみかん」をはじめ、同J Aの購買店舗で、5㍓2300円で販売

する。中元などの贈答用として毎年、人気がある。同J A三重南紀経済センター営農企画指導グループの濱口修好副

グループ長は「例年なく、気温の高い日が続いている。品質が心配されたが、生産者がしっかりと管理をしてくれたおかげで収穫を迎えられた。全国で米が不足している状況なので、一日でも早く新米を消費者に届けたい」と話す。